

担当講師	概 要	日 時
大谷 修司 	自然から学ぶ：春から夏の身近な植物を観察しよう 皆さんが友人や先生方の顔と名前を覚えることで、お互いの関係が深まっていくように、身の回りの植物も名前を覚えることが、植物を身近に感じる第一歩です。また、名前を知ること、花の形や咲く時期などにも次第に興味が出てきます。毎回野外に出て植物を肉眼だけでなくルーペや実体顕微鏡で精緻なつくりを観察しましょう。皆さんには植物の特徴をメモしたり花や葉をスケッチしてカードを作成しファイルとして持ち帰っていただきます。 ※ゼミ参加日の前日までに学生教育研究災害傷害保険への加入が必要です。(保険期間 6 年/100 円)	◆10:30~12:00 (4/22のみ 13:30~15:00) 4/22(水)、5/20(水) 6/24(水)、7/29(水) 8/26(水)、9/30(水) (定員 10 名)
千代章一郎 	建築の歴史：日本と西洋を中心に 現代の建築は、どんな斬新な建物であっても、長い時間をかけて築かれた歴史的な蓄積に基づいてつくられています。そんな建築の歴史を少しずつ学びながら、日本に限らず世界の素晴らしい建築の歴史の世界を味わってみたいと思います。それは人間の技術について学ぶこと、人間の社会について学ぶこと、そして人間自身について学ぶことと深くつながっています。	◆9:30~11:00 4/24(金)、5/15(金) 6/12(金)、7/10(金) 8/7(金)、9/4(金) (定員 10 名)
武田 信明 	小説を読む楽しみー太宰治「ろまん燈籠」 今期は太宰治の短篇「ろまん燈籠」を皆さんと一緒に読み進めていきます。テキストは、角川文庫クラシックがおすすですが、新潮文庫その他でもあります。また「青空文庫」で無料ダウンロードもできます。各自ご用意ください。本作は、太宰文学の中でもあまり読まれていない作品です。小説好きの仲良し五人兄妹が連作でひとつの物語を書きついでいくという設定で、明るくユーモアに満ちた読みやすい小説です。まずは各自が自由に読むことから始めます。各自の素朴な感想が出発点です。そして、小説には「読み方」のポイント(方法)がありますので、それらを提示します。参考にしながら、いろいろな観点から深く読んでみましょう。意見交換の他、簡単な発表(レジュメ)もしていただきます。	◆14:30~16:00 4/23(木)、5/28(木) 6/25(木)、7/23(木) 8/27(木)、9/24(木) (定員 10 名)
田中 芳文 	翻訳作品で学ぶ英語の言語と文化 英語のミステリー小説やノンフィクション作品の翻訳(抜粋)を読みながら、邦訳だけでは捉えにくい英語表現や、その背後にある文化的背景について学びます。 具体的には、ブランド名などの固有名詞、イディオム、スラング(俗語)やジャーゴン(業界用語)、日常的に用いられる表現など、さまざまな英語表現を取り上げます。受講生には、気になった英語表現について各自で調べ、その内容を簡単に発表していただきます。現在お持ちの英和辞典を持参して下さい。	◆10:30~12:00 4/23(木)、5/21(木) 6/18(木)、7/23(木) 8/6(木)、9/24(木) (定員 10 名)
村瀬 俊樹 	実験・調査を通して知る心の仕組み 発達心理学・社会心理学・文化心理学に関する基礎的な内容について、教員からの話題提供、および、参加者からの発表をもとに学んでいきます。参加者の方には、これらの領域の入門書を数冊紹介しますので、その中から、関心のある本の1章(10ページ程度)を選んで期間中に1回発表(15分程度)をしていただきます。紹介した入門書以外でも、教員の守備範囲とマッチする場合は、それについて発表していただいてもかまいません。見えない心を実験や調査で客観的に見ることができるとして取り出し、多くの人に実験や調査に参加してもらい、その結果から一般的な傾向としての心の仕組みを探る心理学の世界を、ご一緒に味わっていただければと思っています。	◆10:30~12:00 4/22(水)、5/27(水) 6/17(水)、7/1(水) 8/5(水)、9/2(水) (定員 10 名)
山崎 泰孝 	ドイツ文学の作品を読む このゼミでは翻訳を用いてドイツ文学の作品を読んでみたいと思います。今回取り上げるのは『変身』で有名なフランツ・カフカの作品で、テキストとして使用するのは岩波文庫の池内紀編訳『カフカ寓話集』です(テキストは各自での準備をお願いします)。ゼミのなかでは作品についての疑問点や解釈について皆さんと議論できればと考えています。 最初に読んだ印象では「よく分からない」作品でも、キーワードとなる特定の表現に注目して読んだり、他の作品と比較したり、作者に関する背景知識を踏まえることで、作品に対する理解度は深まってゆきます。皆さんにはこうした文学作品に対するアプローチの仕方を学んでいただければと思います。	◆10:30~12:00 4/17(金)、5/29(金) 6/26(金)、7/31(金) 8/28(金)、9/25(金) (定員 10 名)